

第 16 回 観てさわって 科学、体験 2009 フェスティバルの参加報告

科学フェスティバル参加委員会

委員長	黒河久悦（電気電子・情報系技術班）
副委員長	政岡 孝（実習工場系技術班）
委員	川口 隆（機械・環境建設系技術班）
委員	大塚昌司（化学・材料系技術班）
委員	奥村秀彦（自然科学系技術班）

1. はじめに

「第 16 回 科学体験 2009 フェスティバル」が 11 月 14,15 日の 2 日間にわたり開催された。この催しは、開かれた大学として地域社会と連携し、子供たちを中心に実体験をとおして科学に親しむ機会を持ってもらうことを目的とし、科学技術の楽しさ、おもしろさを実体感してもらうもので、工学部および理学部が主体となり四国電力株式会社の共催、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援を受けて実施されている。工学部等技術部は 今回「飛ばそう、ストロー君 1号」の題で、空気と力をテーマで参加した。

2. 実施状況について

今年は、都合で会場を工学部 5 号館から、講義棟に移して行く事になった。また、インフルエンザの流行もあり、対応に追われた。初日は、来場者の出足も鈍いスタートとなったが、コーナーの体験者は、1 日目 230 組、2 日目 270 組であった。子供たちに、ペットボトルを使い簡単な発射台を作りストローにタックシールで翼を貼り、いろいろ考え真っ直ぐよく飛ぶように工作して各自で的に向かって飛ばした。また、空気入れなどを使い簡単な体感コーナーも設置して空気のカも実体験してもらった。スタッフ一同、休憩も取れない忙しさで終日対応に追われたが、みなさまの協力のおかげで、大盛況のうちに無事終えることができた。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



写真 - 1 会場風景